

メディアプラストNB-7

メディアプラストNB-7は特殊なジイソノニル ジカルボン酸エステルであり、NBR、H-NBR、CR、ACM、VAMACなどのような極性のあるゴムベースのコンパウンドに使用しているフタル酸系の可塑剤と置き換える事ができます。

メディアプラストNB-7は凝結温度がとても低く、さらにその温度での揮発性もわずかです。したがって高い耐熱性ととも到低温物性を要求されるゴム製品の生産に適しています。

上記ゴムコンパウンドに対してメディアプラストNB-7はよく知られたフタル酸系の可塑剤と同じように働きます。しかしながら、自動車メーカー数社にて規制されている物質リストに載っておらず、報告義務がありません(2005年1月時点)。DOSやDOAなどのその他の代替品と比較してもメディアプラストNB-7は上記ポリマーに対して驚くほど高い親和性を示します。アルカンの炭素数と充填剤の中身によりますが、一般的に30phr以上のメディアプラストNB-7をカーボンブラックを加えたNBRコンパウンドに組み入れる事が出来ます。

物理的特性

化学的特性		: 飽和ジイソノニルエステル
外見		: 透明色、液体
色調	(HAZEN)	: max 40
比重(15°C)	(g/cm ³)	: 0.952±0.005
屈折率		: 1.462±0.005
粘度(40°C)	(mm ² /s)	: 20±3
粘度(20°C)	(mm ² /s)	: 約 50
引火点	(°C)	: 200 以上
凝固点	(°C)	: -50 以下
アニリン値	(°C)	: 約 -40
中和価	(mg KOH/g)	: 0.1 以下
揮発性	(2h/ 160°C) (%)	: 0.5 以下
貯蔵安定性		: 適切な貯蔵条件下で10年
梱包		: 200 kg/ドラム